



好奇心、自信、勇気そして継続

標記の言葉の原文は、「The special secret of making dreams come true can be summarized in four C's. They are Curiosity, Confidence, Courage, and Constancy.」です。日本語では「夢を叶える秘訣は4つのCに集約される。それは、好奇心、自信、勇気、そして継続である。」と訳されています。

これは、世界的に有名なウォルト・ディズニー（享年65歳）の言葉です。皆さんご存じのように彼は、映画監督、実業家です。多くのキャラクターを世に送り出し、世界中の人が彼の作品を愛しています。また、テーマパークを造って夢や希望を与えています。彼は、「ディズニーランドは完成することはない。世の中に創造力がある限り進化し続けるだろう。」とも言っているように、未だに東京ディズニーランド、ディズニーシーには新しいエリアが生まれ続けています。

10月13日の第2学期始業式では、彼の言葉を引用し、1年生から5年生は103日間、そして6年生は98日間の学校生活をどう過ごしたいのか問いました。新たな学期を迎えて20日が過ぎようとしていますが、まだ始まったばかりです。児童には心機一転、新しいことに果敢にチャレンジするとともに、失敗しても前を向いて進んでほしいと思います。3月までにどのくらい成長するのか、今から楽しみです。

地元の国体競技を応援！

10月6日（木）・7日（金）

市国体局の学校応援計画制度を活用して4・5・6年生が、栃木県総合教育センターの体育館で行われたライフル射撃競技（BR・BP）を観戦しました。この制度の目的は、全国から訪れるトップアスリートの競技を間近で観戦することにより、スポーツへの関心を高めるとともに、児童が夢や希望をもつきっかけとすること、また、全国から訪れる参加者を歓迎することにより、人とのコミュニケーションの楽しさ、大切さを学び、おもてなしの心の育成をすることです。

そこで、本校は学区にある施設で行われる競技の選手及び役員を応援しようと考えました。ただし、会場の収容人数に限りがあるため、学年の参加とさせていただきますことをご了承ください。

この競技を初めて目にする児童が多かったと思います。他種多様なスポーツがあることも学んだことでしょう。

また、当会場の駐車場を利用したおもてなしブースに子どもの家を運営しているNPO法人うつのみやオリーブが出店していました。地域も一緒になって応援した期間になりました。

私たち豊郷地区のパワーを結集した応援になったと思います。



豊かな心を育てる講演会



10月18日（火）

PTA文化厚生委員会主催の講演会がありました。今回は、とちぎ視聴覚障害者情報センターにご勤務の佐藤佳美をお招きし、講話をしていただきました。佐藤さんは生まれながらにして目が見えませんが、健常者と同じような生活をしている方です。実際にリンゴの皮むきやスマートフォンを使う場面を披露してくださいました。また、パソコンを使う様子について映像を通して分かりやすく説明してくださいました。「生きていくことで大事なことは、物事をどう捉えどう進めるか」、「困ったときは『手伝って』とお願いしたり、どう工夫しようかと考えたりすることが大切」などの言葉が印象的でした。今回は6年生が同席しましたが、機会があれば、多くの人に聞いていただきたい内容でした。



自転車にはヘルメット



10月18日（火）

市役所生活安心課から2名の講師をお招きして、交通安全教室を実施しました。校内テレビ放送を通して、クイズや動画を取り入れながら事故の恐ろしさや交通ルールやマナーの大切さお話ししていただきました。

特に、自転車に乗る時のヘルメット着用の必要性を強調していました。街中では、ヘルメットを身に付けて運転する小学生を多く目にするようになりました。お持ちでないご家庭はぜひ、お子様の身を守るために、準備をご検討ください。





今年も豊作（稲作体験学習：稲刈り）



10月20日（木）

今年も農業ボランティアの皆様はじめPTA 学年委員の保護者様のご支援をいただき、無事に稲刈りをすることができました。

この体験活動ができるのは、田植え後にボランティアの方々水の管理や草刈り等の作業を丁寧に行っていたお陰です。児童は、その日々の大変な作業を見ないで体験しますので、その苦労を知る必要があります。学校でもそのことはこれからも伝えていきたいと考えます。

さて、今回も田植え時と同様に2つの学年ごと、3グループに分けて実施しました。上級生が下級生に手ほどきしながら作業を進める班もありました。異学年でも仲良く活動できるのは本校の良さです。

それでは、児童の感想の一例を紹介しますので、思いや気持ちが伝わると幸いです。



私は、今日のいねかりを楽しみにしていました。田んぼに行くと、いねが大きく育っていました。「ボランティアさん、育ててくれてありがとう。」と思いました。いねをかって手に持ったら、ずしりと重かったです。くきが太くて、お米がたくさん実っていました。また、来年もいねかりをしたいと思いました。（3年生）

かまを使って稲の土の近くをかったり、千歯こきを使ったりするのも前より上手くなったと思います！とても楽しかったです！来年なども楽しみにしています！



（4年生）



ねっこを虫がたべちゃうとお米がそだたないことを学びました。せんばこきをはじめてつかいました。だっこくをがんばりました。

6年せいに「じょうずだね。」といわれてうれしかったです。らいねもたのしみです。

（1年生）

わたしは今日いねかりをしました。1年生のときよりも上手にいねを切ることができました。わたしたちがうえたなえを、ボランティアのみなさんが虫からまもっていることをはじめて知りました。3年生になったらもっと上手にいねかりができるようにしたいです。（2年生）



今年の稲かりでは、稲につく虫や病気についても教えていただきました。私は、総合の学習でお米について調べましたが、稲につく虫や病気については調べませんでした。稲かりの日に、また新しいことを知ることができてうれしかったと思います。来年も楽しみたいです。

（5年生）

先日は楽しく稲刈りすることができました。今年で最後だったので、特別な活動でした。稲刈りを始める前にして下さった稲の病気の話が特に勉強になりました。千歯こきの使い方が少し難しかったけれど、稲作ボランティアのみなさんが優しくアドバイスをしてくださったので、正しく使うことができました。これからもお体に気をつけてお過ごしください。（6年生）



学校だよりのカラー版はホームページ「各種たより」内からご覧いただけます。

笑顔いっぱいのおにぎりの日

豊北は
愉快な
宇都宮
UTSUNOMIYA

10月19日（水）

本市では「食を通して自分の健康を考える子供を育てよう」をテーマに、学校と家庭が協力して行う「児童・生徒が作るお弁当の日」という取組を実施しています。今回はその1回目として、地域学校園内の小学校はおにぎりの日としました。

当日は、各自が作った様々な形や大きさのおにぎりがあり、笑顔でほおばる光景が印象的でした。2回目は、お弁当の日として11月24日を計画しています。



学校マネジメントシステム「全体アンケート」の回答にご協力ください

昨年度と同じように日常使っているスマートフォンやパソコンなどで回答するWeb方式になっています。詳細な回答方法につきましては、過日通知にてご案内したところです。

昨年度は全PTA会員の保護者様から回答を得ることができませんでした。学校としましては、より多くの方のご意見を伺って、これまでの取組を反省するとともに、次年度に向けて検討していきたいと考えております。ぜひ、時間がある時に取り組み、早めに回答いただけますと幸いです。

また、地域住民の方でアンケートにご協力いただける場合は、直接副校長（665-0205）あてにお問い合わせください。

＜本校アンケート回答期間＞
・10月31日（月）～11月18日（金）

